



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第431号

教会の本来的な姿を捉え直してみませんか

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

私が水巻教会と直方教会の主任司祭を兼任するようになって3か月が過ぎました。

ミサをはじめ、小教区委員会などの開始時間の変更、司祭不在のなかでの教会学校の実施、必要な際の対応の不手際など、既に多くの方にご不便をかけてしまっているのではないかと感じています。これから迎える聖週間までは何かと慌ただしく過ごすことになるのかも知れません。この場を借りて、あらためて皆さまのご理解とご協力に感謝を申し上げます。慌ただしさの中にあっても、四旬節を過ごしながらか、主の受難と復活と重なる私たちの歩みとして深まっていけますように。

このご時世、主任司祭が複数の教会を兼任することは稀なことではありません。実際、全国規模で多くの司祭が複数の小教区を兼任しています。司祭の絶対数が足りていないことに起因していることは言うまでもありませんが、そのことだけに捉われていては何も生じてこないことは明確であり、時代のせい、誰かのせいにするだけの風潮に流されてしまう世間であって、教会は希望を発信するどころか、自らが希望を見失っていることに気付かないままにしていることになりかねません。主任司祭が常駐していることが当然ではない現状を逆手に取りましょう。そのためには、各自がより協力し合わなければなりません。原始教会において何をしても信徒がすべてを持ち寄り(物品に限らず)、心を合わせて集っていた、そして、周りの人々の好意を引き出していたという記述は現代の教会の規範とすべきものです(使徒言行録2・43)。そのために、何度も何度も投げかけていらっしゃるアペイヤ司教様の言葉を汲み取りましょう。そして宣教司牧方針に基づいて行動する人々の集まりが本来的な教会であることを考えましょう。

水巻教会には初聖体を経て共にキリストのいのちに結び付けられ、その意味を共同体の中で深めていくように招かれている子どもたちがいます。その子どもたちから勇気と元気と希望を与えられる親、大人たち

がんば3	2面
「灰の水曜日」の灰が出来るまで	3面
召命を祈る会より	4面
直方教会との親睦会に参加して	5面
幼稚園から	6面
委員会等報告	7・8面
お知らせ・今月の聖人	8面

がいます。同世代がいなくても限られた時間を裂いてミサに来て祈りを捧げる価値を示してくれる青年たち、また、ベトナムの青年たちをはじめ、日本国という外国で生活しながら信仰を通して全教会の一致した姿を見せてくれる青年たちもいます。誰かが背負わなければならないという使命感から教会活動に身を投じて下さる方々がいます。杖をつき、痛い足腰を引きずりながら毎週必ずミサに参加して祈りを捧げる高齢の方々がいます。心に空いた大きな穴や未だに癒えない傷を抱えながら真実の癒しを求めている方々がいます。体が一つしかないことを悔やむ司祭がいます。皆がこの教会の一員なのです。それぞれの存在が水巻教会を支えています。四旬節にあたり、本来的な教会の姿を捉え直してみませんか。



「典礼委員会」

典礼委員長の浅田 敏幸です。

いつも典礼委員会の活動にご協力ありがとうございます。

典礼委員会の主な活動は、感謝の祭儀（主日のミサ）・冠婚葬祭の司会や、主日ミサの時の聖書朗読など、聖歌隊と共に奉仕することです。

クリスマスミサや復活のミサの時も典礼委員会を開き、信徒の皆様と共に神様に感謝と喜びをあらわすことが出来るように企画しています。

主日のミサはもちろん、特別なミサは大変緊張しますが、ミサが無事に終わると神様に感謝の言葉が自然に出てきます。その日の夜の晩酌は最高です。

委員長を任命され3年目ですが、まだまだ分からないことばかりです。

谷口神父をはじめ、松尾隆さん、そして典礼委員の先輩方の指導を受け頑張っています。そして、信徒の皆様の協力なしでは活動できない委員会です。これからもよろしくをお願いします。

随時、典礼委員を募集しています。私達と一緒に心に残るミサを企画し、喜びをともに分かちあいましょう。

★各種手続きの用紙について★

先月号から教会の「各種手続き」を「からしだね」の中に一緒に入れて配布します。聖堂後ろの棚に常備していますが、忘れていた事や信者として覚えてほしい事などが網羅されており、信者として一度は目に通してほしいことが書かれていますので、先月号から添付することにしました。各家庭で保存し、活用してください。

「灰の水曜日」の灰ができるまで

典礼委員 傍士貴子

皆さんは灰がどうやってできるか知っていましたか？私はいつもしるしを受けるだけで灰がどうやってできるのか、誰が作っているのか知りませんでした。

今回典礼委員会の方と指導して下さる松尾さんと灰作りに挑戦しました。

- ①まず皆さんから回収した枝を焼きます（毎年回収率が減っているようで、皆さんご協力お願いします）。
- ②シュロの枝には油が含まれていてよく燃えますが、枝まできれいに燃やすには時間がかかります。
- ③バナーを使って直火で燃やし灰ができあがりました。
- ④まず粗い粉ふるいで灰をふるいます。そして粗い灰の



ままだと炭が残っていてしるしを受けるときに黒くなってしまうので（松尾さん談・思いやりに感謝）、ここからまたなんと茶こしでふるいます。



- ⑤茶こしでふってハケで集めますが、足りずにもう一度集めてふるい直します。
- ⑥そして完成—今年の灰は良い出来のようです。



来年はミサ後、子ども達と一緒に灰を作ってもいいかなって思った灰作り。いつも誰かが見えないところでがんばって下さっていたのだと思った一日でした。

召命を祈る会より

対馬 須美江

2月10日土曜日小倉教会にて召命を祈る集いがありました。

今回土曜日のミサだったのでたくさんの方々が参加されました。

今までは20人ほどの参加でしたが今回は50人位の方々が参加されミサをささげる事ができました。水巻教会から樽角樹祈君と友祈ちゃんふたりの参加がありミサの侍者もしてくれてたのもしい限りです!!もっとたくさんの子供たちの参加を待っています。

ミサ後茶話会があり、いろんな方々と談笑して終わりました。



来月は3月16日土曜日14時から小倉教会です。たくさんの方々の参加お待ちしております。



召命を祈る集いに参加して

先日召命を祈る集いに初めて参加しました。子供やその家族にも参加してほしいとの事でしたが、今回は私たち家族だけでした。ぜひ皆さんも共に祈りましょう。

海老津地区 樽角 司



★教会は子どもたちを必要としています。が、子どもの数は年々少なくなっています。主が「子どもを私のそばに」と呼ばれたことを思い、子どもたちの明るい元気な声と笑顔、この中から司祭召命につながるようにと願いつつ。

直方教会との親睦会に参加して

広報編集部員 福嶋東三子

先月 28 日 午後 1 時半から、直方教会との信徒の交わり会が初めて行われました。直方教会は遠賀川東側堤防を南へ車で約 25 分。日の出橋を左折後約 200m のところに、入口の白いマリア像、目を挙げると緑の屋根に十字架が聳える美しい教会が目飛び込んできます。



昨年 11 月末から両教会の司祭職を兼任されている谷口神父を囲んで信徒同士親交を深めるためにと企画された昼食会でした。キッチンと集会室の開閉式壁が開かれて、長いテーブルの上には、皆様の「おもてなし」の数々が次々に並べられました。

わが教会の有志はそれぞれにデザートを持ち寄り参加させて頂きました。

自己紹介と教会での奉仕担当の説明に始まり、アヴェマリアの祈りと共に会食が始まりました。

ちらし寿司、いなり寿司、ピザ、サンドイッチ、ご当地唐揚げなどなどどれも美味しく、中でも福智町にあるケーキ屋さんのシューバーは絶品。抹茶味、チョコ味、苺味のクリームがシューの皮と共に口の中に溢れて、スイーツに目がない私にとって至福のひとつでした。

隣に座った者同士の会話が弾み、わが教会の T さんのお姉様、お兄様が直方教会にいらっしゃる事をお聞きして驚き、数組の御夫婦や、ご結婚によって姓が変わっても信仰を守っておられる方などなどクリスチャンファミリーの絆が強いことに感動しました。

同じ信仰心を持つ兄弟姉妹との会食は、キリストの身体を頂くミサにも通じている様に満たされて有難いものでした。

楽しい時間は瞬く間に過ぎ、次は水巻教会にお招きしましょう～と約束しての散会となり、御聖堂を出て振り仰ぐ雨上がりの十字架は陽の光に美しく輝いていました。

直方教会の皆様には昨年末、Max バリュー水巻店での恒例の募金活動にご参加くださり、尊い献金も頂きました。司教区の行動指標であるラウダート・シ(出向いて行く教会)を实践されている事に感謝し、我々も直方教会の皆様にあいたいと思います。





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 3月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

先日の節分では、鬼の製作をし、紙で作った豆で豆まきをしました。実際に鬼が幼稚園に来て、「嘘をついている子どもの投げた豆は痛くない。正直者の豆は痛い。」と話し、自分の心の中にある鬼を、退治することが出来ました。



秋に植えた大根の収穫をしました。勢いよく抜ける大根

に大喜びでした。次はじゃがいもを育てようと畑を耕しています。雑草を根っこから抜いて、土をふかふかにしようと掘り返しました。「ダンゴムシの赤ちゃんがいるよ!」「卵見つけた!」と土の中の春の発見に、大興奮の楽しい時間になりました。抜いた大根は、みんなでおいしくいただきたいと思います。

水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559

e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉



2日、節分のペープサートがありました。♪「鬼は外 福は内 パラッパラッパラッ 豆の音 鬼はこっそり逃げていく～」と何回も歌いました。「”福の神”という神様もいますよ。ほら、ニコニコのお顔でしょう。福の神がいると、みんな笑顔になります。」

お話の後、みんなで豆まきをしました。子ども達が鬼になり、こっそり部屋から出て行ってもらいました。可愛い鬼さん達でした!

久しぶりに、給食室から沢山の玉葱が来ました。午後のおやつの後、園庭に行く前に、みんなで剥きました。



「どこからむくの?」「ここ引っ張って。」一袋全部剥きました。1時間くらいかかりました。給食室の先生に、笑顔で「ありがとう!」と言われました。

TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同

委員会等報告

2024年2月分

2月度小教区委員会 2月11日

1. 行事予定

- ・ 3月 3日(日) 11時～ミサ。
ミサ後～小教区委員会
- ・ 3月 10日(日) 9時～ミサ。
ミサ後～教会学校
- ・ 3月 17日(日) 11時～ミサ
- ・ 3月 24日(日) 9時～ミサ。
ミサ後～教会学校・こころの会
- ・ 3月 28日(木) 19時～聖木曜日ミサ
- ・ 3月 29日(金) 19時～聖金曜日ミサ
受難の典礼
- ・ 3月 30日(土) 19時～復活徹夜祭ミサ
- ・ 3月 31日(日) 9時～復活の主日ミサ

2. 議題

(1) 各専門委員会および代表委員(営繕、納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧評議委員より

① 広報委員会

・ 提案を受け、現在、聖堂入口に置いてある教会における各種手続きに関する資料を折り込み、「からしだね」を発行する。また、アベイヤ司教の公式訪問と初聖体式、直方教会の教会委員との親睦会、Fr,ベリオン師の黙想会と送別会の様子などについて、随時、特集を組む。

② 典礼委員会

- ・ 四旬節(聖週間)のため、準備を早めに取り掛かりたい。
- ・ 聖歌隊の代表(金氏)の事情により交代を検討中(聖週間までは続けるとのこと)。

③ 総務委員会

- ・ 特になし

④ 財務委員会

- ・ (2)を参照のこと。

⑤ 営繕の部

- ・ 特になし

⑥ 納骨堂管理の部

・ 当教会にては合葬を行わないとする規約を受け、小倉南区にあるカトリック北九州納骨堂への安置を希望するケースが2件ある。経済的事情を考慮する必要もあるため、当委員会において慎重な判断ができるようにしたい。

⑦ 冠婚葬祭の部

- ・ 棺を覆う布が大きいため、一般的な棺のサイズに合うように修繕していただいた。

⑧ 北九州地区宣教司牧評議会

・ 2024年12月1日(日)第4回地区聖書講座が水巻教会にて行われる(終了後、茶話会が行われるため、その準備も)。講座そのものは14時～15時半を予定。

(2) 教区財政についての説明会(2月4日)を受けて

・ 2月4日(日)教区財政に関わる説明会に参加し、担当者から資産運用の現状についての報告を受けた。実際、51小教区からの預かり金をもって収益を得ているとのこと。引き続き、協力を願いたいとのこと。

(3) 3月31日(日)復活祭の主日ミサ後のお祝い会について

・次回、3月3日(日)に行われる小教区委員会において、どのように準備し、進めるのかを詰めるようにする。

(4) 聖堂の折りたたみ椅子の導入について

・「からしだね」と呼応し、意見を集めるためのアンケートの実施について、来週のミサ後のお知らせで信徒に伝え(アンケートには

木製の折り畳み椅子を長椅子の横に左右計20脚、予備に10脚を購入予定と明記)、意見を募るようにする。期日は2月25日(日)。

(5) Fr,ベリオン師の送別会に関して

・総務委員長がふれあい会と数名の方に声をかけて準備を行っている(食事、横断幕、花束等)。



★聖週間のお知らせ★

24日(日)(受難の主日【枝の主日】)

9時より

28日(木)(聖木曜日) 19時より

29日(金)(聖金曜日) 19時より

30日(土)(復活徹夜祭) 19時より

31日(日)(復活の主日) 9時より

★ゆるしの秘跡・聖体を望まれる方へ★

以前にもお知らせしましたが、ご高齢や病気によってミサに与られない方に聖体を届けることやゆるしの秘跡を受けること、病者の塗油を受けることができます。主任司祭に事前に電話をかけて、お伝えください。

★ご協力ありがとうございました★

●世界こども助け合いの日献金

1月28日 49,551円

●1月7～2月11日までの募金について、第一回目の送金を2月16日に行いました。

・能登地震支援 97,851円

・ガザ人道支援 56,810円

ご協力ありがとうございました。

引き続きご協力お願いします。

今月の聖人

12日 聖マクシミリアノ 274年～295年

マクシミリアノは、アフリカのヌミディアのテベステに生まれました。ローマ皇帝マクシミアヌスの兵士として徴兵されましたが、皇帝の兵士としてではなくキリストの兵士として仕えたいと言って徴兵を拒否したため、法廷に連れて行かれました。当時、軍役を拒否する者は死刑に処せられることになっていたため、裁判官はマクシミリアノの心を変えさせようとしたのですが、彼の決心は変わりませんでした。すぐに彼は刑場に連れて行かれ、21歳の若さで殉教しました。